

地方自治法施行令第167条の2第1項第5号 により随意契約をすることができる場合	今回の契約が左に該当すること等の説明
<p>緊急の必要により競争入札に付することができないとき。</p>	<p>1 見積合せをしていたのでは、時期を失し、契約の目的を達することができないことの説明</p> <p>行政棟2階中央管理機械室において、工事完成時には適切な温度を確保されていたが、建物の本格運用が開始され、室内にある各機器が常時起動していることにより、機器が熱を持ち、適切な温度を確保できないことが確認された。</p> <p>中央管理室機械室には、電気設備、機械設備の主要な装置が設置してあり、熱により故障すると、建物運用に支障がでるため、速やかに契約し工事を行う必要がある。</p> <p>2 特定の者を選定した理由</p> <p>「朝日設備工業株式会社」は、今般完成した「岐阜県庁舎行政棟空調設備工事」の施工者である「三建・須賀・朝日・二葉特定建設工事共同企業体(以下「JV」という)」の構成員である。</p> <p>「朝日設備工業株式会社」はJVの構成員として、対象建築物の空調設備工事の中心的役割を担い、対象建築物全体及び今回の施工部分を総合的に最もよく把握する者であり、本契約の目的を達することができるのは、この者しかない。</p>

備考 この様式により難しいときは、必要な事項を含む適宜の様式によることができる。